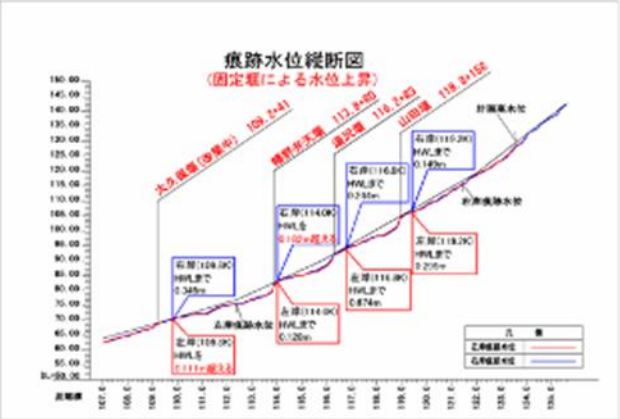
資料－２

雄物川上流には、農業用水取水と河床の安定を目的とした４つの固定堰（大久保堰、幡野弁天堰、湯沢堰、山田堰）があるが、流下能力が確保できないなど治水や環境面に問題を抱えており、堰の統合や改修が必要です。（最下流の大久保堰は H17 年度に可動堰に改築が完了）

今回、湯沢堰と幡野弁天堰を統合して改築し、可動堰にすることにより、流下能力を改善し、治水安全度を向上して地域の安全・安心を図ります。



○平成１６年７月洪水では、幡野弁天堰周辺で H.W.L（はん濫危険水位）を上回る水位を記録した。





○改築前の湯沢堰



○改築後の湯沢統合堰（イメージ）

